

敦賀市(保険者)における 薬剤適正使用の取り組みについて

～国保レセプトデータを活用した重複・多剤服薬対象者の抽出及び通知～



敦賀市 福祉保健部国保年金課

主幹 谷川 昌幸

重複・多剤服薬対象者への対応について

県↓医療機関・薬局
(依頼)

敦賀市薬剤適正使用多職種連携プログラムに記載のとおり、重複・多剤の可能性のある対象者の方に『服薬情報のお知らせ』を送付する取組みを行うことになりました。(下記参照)

今後、通知を受けた患者がかかりつけ医療機関および薬局へ相談されることが予想されます。

御多忙中恐縮ですが、お知らせの書類を持参した患者からの相談があった場合、お薬手帳等により処方内容を確認していただき、可能な範囲で御対応くださいますようお願いいたします。なお、対応結果につきましては、保険者（敦賀市国保年金課）あて提出くださいますよう、併せてお願いいたします。

※一定期間の診療・処方状況をもとに対象者を抽出しております。現在の状況と異なる場合や医師が治療に必要なとの判断で処方されている場合には、ご容赦ください。

<目的>

適正服薬の支援体制を構築し、重複・多剤服薬による薬物有害事象等の発生を防止すること

<方法>

重複・多剤服薬の可能性のある対象者への介入

・保険者による重複・多剤服薬の可能性のある対象者の抽出および対象者への通知

・医療機関および薬局における相談対応および情報連携

抽出:3か月連続該当者

●重複

2以上の医療機関から処方されている人

- ・催眠鎮静剤、抗不安剤 ・解熱鎮痛消炎剤
- ・精神神経用剤 ・消化性潰瘍用剤
- ・その他の血液・体液用薬・血圧降下剤
- ・糖尿病用剤 ・血液凝固阻止剤
- ・利尿剤

●多剤

処方日数14日以上/月で、10種類以上処方されている人

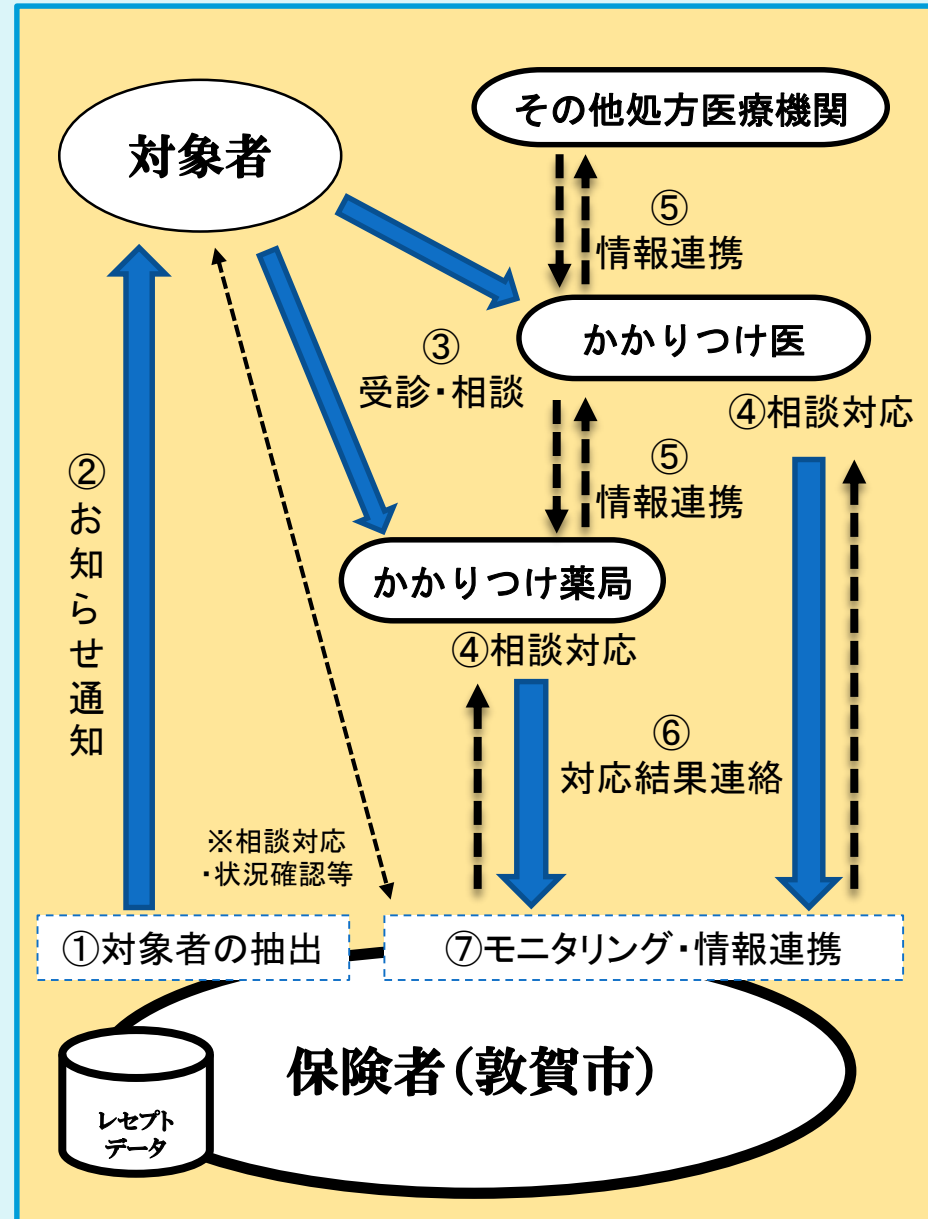
保険者による対象者への通知から介入の流れ

- ①保険者が、抽出基準に基づいてレセプトデータより対象者を抽出する。
- ②保険者から対象者へ【様式1:服薬情報のお知らせ】を通知する。
- ③対象者は敦賀市からのお知らせを持参し、かかりつけ医やかかりつけ薬局に相談する。
- ④かかりつけ医や薬剤師が相談対応し、処方情報を確認し、必要な対応(助言や薬の調整等)を行う。
- ⑤医療機関や薬局間での調整が必要な場合は、各機関との情報連携を行う。
- ⑥かかりつけ医や薬剤師は、対応結果について、保険者に連絡する。

【様式3:服薬情報提供書】

【様式2:服薬情報相談対応連絡票】

- ⑦保険者は、医療機関からの情報やレセプトデータ、対象者への状況確認によりモニタリングを行う。→事業評価へ



通院中の皆様へ

このお知らせは、一定期間内に、いくつかの医療機関から同じ効果のあるお薬が処方されていたり、多くの種類のお薬が処方されていたりする可能性のある方にお送りしています。

**次回受診する際、かかりつけ医療機関または
薬局へ、次の2点を持参してください。**

①今回お送りしたお知らせ一式（様式1～3）

②お薬手帳（使用しているもの全て）



お薬の
重複や飲み合わせを
チェックして
健康被害を防止！



※ 現在の状況と異なる場合や医師が治療に必要なとの判断で処方されている場合に
受け取られた際は、ご容赦ください。

＜このお知らせに関するお問合せ先＞
敦賀市国保年金課 0770-22-8119

敦賀市・敦賀市医師会・敦賀市薬剤師会・福井県

（様式1）服薬情報のお知らせ

敦賀市↓対象患者あて送付

※患者が医療機関または薬局へ持参
（様式2・3 お薬手帳と併せて）

【通知番号】〇〇〇〇

服薬情報相談対応連絡票（敦賀市⇄医療機関・薬局）

令和 年 月 日

医療機関および薬局関係者の皆様

重複・多剤の可能性がある対象者の方に『服薬情報のお知らせ』を送付しましたので、対象者からの相談があった場合、書類やお薬手帳等により処方内容を御確認くださるようお願いいたします。

また、対応結果を下記により敦賀市あて御提出くださるようお願いいたします。

※一定期間の診療・処方状況をもとに対象者を抽出しております。現在の状況と異なる場合や医師が治療に必要なとの判断で処方されている場合には、ご容赦ください。

敦賀市国保年金課

医療機関・薬局専用

敦賀市国保年金課 あて（FAX ）

相談対応結果

1) 対象者に説明した後、☑を入れてください。

☐ 相談対応について敦賀市に伝えることを説明し、同意を得た。

2) 相談対応機関（該当箇所に☑を入れてください。）⇒ ☐ 医療機関 ☐ 薬局

医療機関・薬局名	
連絡先	
対応者（科名・担当者等）	
対応日	令和 年 月 日

3) 相談対応状況（該当箇所に☑を入れてください。）

(1) 処方薬の見直しや調整 ⇒ ☐ 必要 ☐ 不要

(2) 処方薬の見直しや調整が必要な場合

<医療機関>

☐ 自院で見直しを行った

☐ 他医療機関へ情報提供して調整を依頼した（必要に応じて様式3：服薬情報提供書をご使用ください。）

⇒（結果） ☐ 見直しあり ☐ 見直しなし ☐ 不明

☐ 他医療機関や薬局で相談するよう助言した

☐ その他（ ）

<薬局>

☐ 医療機関へ情報提供して調整を依頼した（必要に応じて様式3：服薬情報提供書をご使用ください。）

⇒（結果） ☐ 見直しあり ☐ 見直しなし ☐ 不明

☐ 医療機関や他薬局で相談するよう助言した

☐ その他（ ）

（様式2）服薬情報相談対応連絡票

医療機関・薬局↓敦賀市

※相談対応結果について送付

〇〇〇〇病院・薬局 御中

令和 年 月 日

服薬情報提供書（医療機関・薬局⇄医療機関・薬局）

情報提供内容 下記のとおり情報提供いたします。ご高配賜りますようお願い申し上げます。

<情報提供先機関> 〇〇〇科 〇〇〇〇 先生 御侍史	<情報提供元機関>
<患者> 氏名：〇〇 〇〇 男 ・ 女 生年月日： 年 月 日	<担当者名> <input type="checkbox"/> 医 師 () <input type="checkbox"/> 薬剤師 () <input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 情報を伝えることに対して患者の同意を得ています。	
<内容> 	

**対応結果** 情報提供ありがとうございました。対応結果について、下記のとおりご報告いたします。

<情報提供元機関> 〇〇〇科 〇〇〇〇 先生 御侍史	<対応機関>
<患者> 氏名：〇〇 〇〇 男 ・ 女 生年月日： 年 月 日	<担当者名> <input type="checkbox"/> 医 師 () <input type="checkbox"/> 薬剤師 () <input type="checkbox"/> その他 ()
<内容> 処方見直し・調整 ⇒ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	

（様式 3）服薬情報提供書

医療機関・薬局間での情報連携が必要な場合使用

〈重複・多剤服薬通知対象者数および対応状況について〉

1. 対象者の抽出状況

(1) 重複

抽出基準 2以上の医療機関から処方されている人

抽出条件 薬効分類単位で集計

薬効分類 番号	薬効分類名	該当者数(人)			8～10月のうち 一月該当者 (人／％)		8～10月のうち 二月該当者 (人／％)		8～10月のうち 三月該当者 (人／％)		8～10月該当者 合計 (実人数)
		8月	9月	10月							
112	催眠鎮静剤、抗不安剤	18	25	21	14	42.4%	7	21.2%	12	36.4%	33
114	解熱鎮痛消炎剤	77	66	57	140	83.8%	21	12.6%	6	3.6%	167
117	精神神経用剤	3	1	2	3	75.0%	0	0.0%	1	25.0%	4
232	消化性潰瘍用剤	95	98	91	126	64.3%	52	26.5%	18	9.2%	196
339	その他の血液・体液用薬	2	3	3	6	85.7%	1	14.3%	0	0.0%	7
214	血圧降下剤	7	7	5	14	87.5%	1	6.3%	1	6.3%	16
396	糖尿病用剤	2	1	2	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%	4
333	血液凝固阻止剤	0	1	4	5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5
213	利尿剤	0	0	1	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
合計		204	202	186	312	—	83	—	38	—	433

※薬効分類が重複している方 3名

(2) 多剤

抽出基準 処方日数14日以上/月で、10種類以上処方されている人

抽出条件	該当者数(人)			8～10月のうち 一月該当者 (人／％)		8～10月のうち 二月該当者 (人／％)		8～10月のうち 三月該当者 (人／％)		8～10月該当者 合計 (実人数)
	8月	9月	10月							
薬効分類単位で集計(10剤以上)	255	216	245	274	60.4%	100	22.0%	80	17.6%	454

2. 服薬情報のお知らせ通知者数

重複	25
多剤	70
重複・多剤どちらにも該当する人	10
合計	105

3. 服薬処方の対応状況(様式2:服薬情報相談対応連絡票より)

●提出数:39(医療機関21、薬局18)

●処方薬の見直しや調整が必要だった事例の回答数:12

●処方薬の見直しが必要だった『12事例』の対応状況

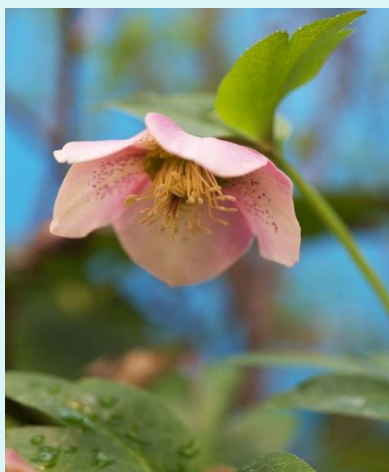
・医療機関→自院で見直しを行った:8事例

・薬局→医療機関や他薬局へ相談するよう助言した:4事例

(うち見直しありは3事例)

敦賀市における 薬剤適正使用の取り組みについて

～重複・多剤投与者に対する適正受診、適正服薬を促す取り組みの実践から～



敦賀市 福祉保健部健康推進課
保健師 吉村 洋子

重複・多剤投与者に対する 適正受診、適正服薬を促す取り組みについて

＜服薬管理指導の目標＞

健康状態の把握および服薬管理指導を実施することで、服用薬剤の減薬、服薬アドヒアランスの向上、生活習慣の改善を目指す

＜対象者＞

重複・多剤服薬通知(様式1)(令和4年10月通知)者76名のうち、特定健康診査等受診者(28名)であり、服薬情報相談対応連絡票(様式2)により返書があった者および資格喪失者8名を除く20名
(内訳:40歳代1名 50歳代4名 60歳代7名 70歳代8名)

重複・多剤投与者に対する 適正受診、適正服薬を促す取り組みについて

＜実施方法および内容＞

電話による相談および保健指導 実施者：市保健師

- ・服用薬剤の減薬（処方箋の減薬・変更、薬剤削減後の体調変化の確認等）
- ・服薬アドヒアランスの向上（副作用の不安払しょく、継続服薬の必要性の理解、飲み忘れ防止、主治医とのコミュニケーション等）
- ・健康状態の把握および生活習慣の改善

事例報告

薬効分類	対象者数(人)	事業実施者数(人)	結果および支援内容
重複 (催眠鎮痛剤、抗不安剤)	1	1	本人の発言とレセプト結果の不一致
重複 (解熱鎮痛消炎剤)	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・県外の医療機関に通院中 ・お薬手帳を数冊保有している お薬手帳の一冊化について説明指導
重複 (精神神経用剤)	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の死後、心身不安定となり、頻回受診 ・就寝前転倒、鎖骨骨折
重複 (消化性潰瘍用剤)	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・お薬手帳は医療機関に持参し、提示している そのため、薬剤の重複はないと思う ・鎮痛薬の効果に不信、内服薬は自己中断 ・飲酒習慣に対し、生活指導実施
多剤	9	6 (ほか不在2、資格喪失1)	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医に連絡票(様式2)を提出済 ・お薬手帳をかかりつけ薬局に持参し、提示している ・医師が必要と認めている薬剤だから必要である ・生活習慣病関連の薬剤も多く、食運動習慣の改善に向けた指導を実施 ・患者自身が、精神科通院歴の偏見から他医療機関にお薬手帳の提示を拒否していた時期あり このことに対し、本人の気持ちを受容し相談指導を実施した結果改善可 ・CAPD、訪問看護や就労支援施設等利用者